

九州大学大学院未来共創スクール in 熊本

デジタル田園都市国家構想と DXによる地方自治体の価値の創造

令和5年

1/30 (月)

13:00-17:00
(受付開始 12:30)

参加
無料

場所

くまもと森都心プラザ

(熊本市西区春日1丁目14番1号、JR熊本駅下車徒歩4分)

第1部:プラザホール 第2部:会議室A・B合同利用

参加者

第1部:地方自治体職員、地方議員、大学の学生・教職員、
テーマに関心のある一般の方

第2部:地方自治体職員の方のみ
第1部200人、第2部30人



[要事前申込]
1/27 [金]
まで



申込QRコード

お申し込みは
ウェブプログラム <https://gipad.kyushu-u.ac.jp/>
または上記 QR コードから

政府は、「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ろうとしています。これに対して、先進的な取り組みをしている地方自治体がある一方で、まだ、どうしたらよいか考えている地方自治体もあるのではないのでしょうか。そこで、未来共創スクールでは、第1部は、政策、実務、理論の観点から「デジタル田園都市国家構想」を掘り下げて考えます。第2部は、地方自治体の立場から、DXをどのように行政や地域の課題解決に役立てるのか、DXを使ってどのような価値を創造するのか、地方自治体の参加者とともに、グループワークを通して考えます。

時間	内容	講演者等
13:00~13:10	開会の挨拶	
13:10~15:20	第1部/シンポジウム〈ハイブリッド形式〉	
	<p>〈政策〉</p> <p>・デジタル田園都市国家構想について</p>	<p>内閣官房 デジタル田園都市国家構想 実現会議事務局 参事官補佐 菊池 雄太</p>
	<p>〈実務〉</p> <p>・熊本県におけるDXの取り組み (県DXグランドデザイン、県内のスマートシティ取組状況、オフィス改革 等)</p>	<p>熊本県企画振興部デジタル戦略推進課 課長 受島 章太郎</p>
	<p>〈理論〉</p> <p>・変革の定義と理論的評価について</p>	<p>九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授 池田 大輔</p>
15:30~17:00	第2部/ワークショップ〈対面形式〉	
	<p>〈共創〉</p> <p>・DXをどのように行政や地域の課題解決に役立てるのか ・DXを使ってどのような価値を創造するのか</p>	地方自治体の参加者

九州大学大学院未来共創スクールは、九州大学と国、地方自治体、民間企業、他大学等が協働することにより、地方自治体の政策立案・実施・評価に関する人材開発を行います。また、参加者同士の交流を通じて、新たな価値が共創されるきっかけとなる場を提供します。

●主催

GIPAD 未来共創リーダー育成プログラム
Graduate Program of Interdisciplinary Policy Analysis and Design

●後援

熊本県
Kumamoto Prefecture

●問い合わせ先

未来共創リーダー育成プログラム推進室
〒819-0395 福岡市西区元岡744 suishinshitsu@scs.kyushu-u.ac.jp

